

# 安倍氏銃撃 旧統一教会に 親族証言 献金「1億円超」

安倍晋三元首相(67)が奈良市で参院選の街頭演説中に銃で撃たれて殺害された事件で、奈良県警に逮捕された無職山上徹也容疑者(41)は殺人容疑で送検との供述しており、県警は事件の背景を調べている。

山上容疑者の母親について「宗教法人に1億円を超える献金をした」と証言した。母親は法人に入会後、不動産を売却し、そ

の後に破産していた。

▼29面=90点先に弾痕か  
山上容疑者は事件の動機についてこの宗教法人の名を挙げ、「恨みがあった」と供述しており、県警は事

族の男性によると、山上容疑者の母親は旧統一教会の会員になり、献金を重ねた。夫の生命保険金5千万円などを支払った献金の総額は1億円を超えるという。旧統一教会は11日に記者会見し、山上容疑者の母親について、「1998年ごろに会員になった」と説明した。不動産登記簿などに

よると、山上容疑者の母親は98年に土地2ヵ所を相続し、5ヵ月後即ち99年に売却していた。2002年には自身が破産していた。

山上容疑者は県警の調べに旧統一教会の名を挙げ、「母親が入信し、教会への献

金で生活が苦しくなり、恨んでいた」「トップを狙おうとしたが難しく、安倍元首相が旧統一教会と近いので殺そうと思った」という趣旨

を話している。捜査関係者によると、山上容疑者の自宅や実家から押収したノートには母親や旧統一教会への恨みが書かれてい

た。旧統一教会は13日、「平からの10年間で5千万円が返金された」とする文書を確な献金額にはいまだにたりきりしていないが、05年朝日新聞などに出した。